

湯島だより

令和6年度10月号
文京区立湯島小学校
校長 小池 夏子

安心で安全な生活を創る

生活指導主幹

教育活動の最優先事項は、安心・安全です。湯島小学校でも児童が安心・安全に生活できるように様々な取り組みをしています。ゲリラ豪雨に地震、熱中症警戒アラートと私たちを取り巻く環境で心配なことはたくさんあります。自然災害だけでなく、交通安全、不審者対策、火災、Jアラート、SNSを発端とした特殊詐欺など、児童の周りにも危険はたくさんあります。生活指導部では、児童が安全に生活できるようセーフティ教室、避難訓練、煙ハウス体験、起震車体験、薬物乱用防止教室など、警察や文京区の方や関係機関の協力をいただきながら進めています。その中から「教室遊び（暑さ関連）」「歩行者シミュレータを活用した交通安全教室」や「防災宿泊体験」の取り組みについてお伝えします。

「教室遊び（暑さ対策） 全学年対象」

今年の夏も連日熱中症警戒アラートが発令され、国連から「地球沸騰化」という警告がでるなど、暑い日が続きましたが、大きな事故もなく子供たちは元気に過ごすことができました。暑さにより校庭で遊べない時は、教室遊びになります。それぞれ読書や係活動など工夫をして活動をしています。各クラスには、大勢で遊べるトランプ、ウノ、カードゲーム「シン・メンコ」を配布しています。「シン・メンコ」自分のメンコを投げて箱から落ちたメンコ（得点記載）を獲得できます。キャラ×技×ルールがよく考えられていて、子供たちはすぐに夢中になりました。



「歩行者シミュレータを活用した交通安全教室 1年生対象」

本校では、毎年1年生対象に歩行者シミュレータを活用した交通安全教室を実施しています。歩行者シミュレータとは、バーチャルリアリティの世界に再現した街並みの中を、危険を予測しながら歩くことで、危険感受性を高めることを目的とした機材です。大画面に3Dで表現された街並みが再現され、その場で歩くように「足踏み」または、「腕振り」をすることにより、歩行疑似体験ができます。歩行者シミュレータを用いた交通安全教室では、安全な道路の歩き方・横断の仕方について体験的に学べ、横断時の錯覚や思い込みの危険性など、道路横断時に対する子供たちの事故防衛機能を高めることができます。時刻・天気などによる見え方の変化も分かり、子供たちは歩行時の気を付ける視点を学ぶことができます。



「防災宿泊体験 4年生対象」

「巨大地震発生により広域被害想定、文京区震度7、帰宅困難者多数により引き渡し不可」という想定のもと、学校防災宿泊体験を実施しました。6月28日（金）13時25分、教室に流した緊急地震速報の連絡から、1泊2日の防災宿泊が始まりました。この防災宿泊体験は「災害時の命の守り方を知り、それを広めること」「集団生活を通して責任や協力について知ること」を目的としています。開校式の後、本郷消防署や防災課の方による体験活動「止血や骨折の応急手」「AED体験」「119番通報」「消火器訓練」「簡易トイレ組み立て」「備蓄倉庫見学」を行いました。消防署の方の話をよく聞いて、真剣に訓練に取り組んでいました。そして災害時にどのような行動をとればよいか、しっかりと考えることができました。毛布3枚で宿泊場所を設営し、防災・備蓄食品の夕食を摂りました。避難所では自分は眠れなくても周りの方と同じように行動をしなくてはなりません。準備の段階では「学校に泊まれるなんて楽しみ」と言っていた子供たちも、どれも真剣に取り組み、自分の知ったことや伝えたことを作文にまとめました。防災宿泊体験は、保護者の皆様をはじめ、消防署、防災課、消防団と様々な方の御協力あつての行事です。今年度も御理解と御協力をいただきありがとうございました。

これからも子供たちが安心して安全に過ごせるよう、計画的に指導をしていきます。今後とも、本校の教育活動に御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

10月の予定

魚沼移動教室

6年担任

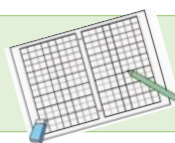


9月9日（月）から11日（水）の間で魚沼移動教室に行ってきました。1日目はゆのたにフォトラリー、米袋作り体験、魚沼クイズ学習を行いました。2日目はニジマスの掴み取り、飯ごう炊さん、魚沼醸造での施設見学、八色物産での雪室見学やお米の等級検査を行いました。3日目は、馬高縄文館での施設見学と勾玉作りを行いました。豊かな自然と触れ合い、東京ではできない貴重な体験をたくさんすることができました。3日間を通して、「湯島小の代表」としてふさわしい姿とは何かを常に考え、行動することができました。昨年度の八ヶ岳移動教室や、今年度の社会科見学などで学んだことを生かし、お互いに助け合いながら集団生活を送ることができており、子供たちの成長を感じました。この経験を生かし、湯島小学校を引っ張っていくリーダーとしてさらに成長していけるよう、指導してまいります。



図書館を使った調べる 学習コンクール

夏休みに子供たちが取り組んだ「図書館を使った調べる学習コンクール」や「東京都小学生科学展」の作品を、9月17日（火）～9月28日（土）の約2週間、校内で展示しました。子供たちが、知りたいことやふしぎだなと思うことからテーマを決め、図書館やインターネットなどで調べたり、観察・実験などを行ったりしてまとめたものです。今年度も力作揃いでした。各学年の代表作品は区のコンクールへ出品しました。



読書感想文コンクール



「青少年読書感想文全国コンクール」は、今回第70回を迎えました。児童が本に親しみ、読書の楽しさ、素晴らしさを体験すること、また深く読書し、読書の感動や自分の考えを文章に表現することを通して、豊かな人間性や考える力、正しい日本語で表現する力を養うことをねらいとしています。本を開いて、それまで表現できなかった気持ちを伝える言葉に出会い、感想文を通して自分の気持ちを表現することで、心の中だけでなく他者にも伝えることができる素敵な機会となります。

今年度も多くの子供たちが取り組み、その中から学年の代表作品を選定しました。文京区では、それらを校内優秀作品として読書感想文に編纂しています。